

キャラクター名  
PC4 (あだ名: 鯨<<じら>>)

プレイヤー名

シンドローム	エグザイル キュマイラ		ワークス	FHチルドレン	カヴァー	FHチルドレン (非行少年)
	オプション		年齢	???	性別	男
覚醒	生誕	衝動	飢餓	初期侵食率	31 %	
出自	義理の両親	経験	疑惑	邂逅	欲望: 物欲	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	33
肉体	5	1	0			6	行動値	8
感覚	1		0			1	(非装備時)	8
精神	0		1			1	戦闘移動	13
社会	2		0			2	全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	4		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志	3	2	調達		
運転:			芸術:			知識:			情報:	FH	1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
断頭台<ギロチン>	白兵	8r+3	6	25+1d10		コンセ+貪欲なる拳
100↑	白兵	12r+3	6	31+1d10		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
思い出の一品	
ブランケット	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
破壊者<ディザスター>	P	N		
女郎蜘蛛	P 傾倒	N 脅威		
PC3・アザラシ	P 友情	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4    残り財産P: 2

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンセ(エグザイル)	2	2	Xジャー	-	-	シンドローム	-	
効果:	C値-LV							
骨の剣	5	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	武器作成。白兵、命中-1、攻撃力+[LV+5]、G値6、至近							
死招きの爪	3	3	マイナー	至近	自身	自動	リミット	
効果:	骨の剣のリミット。攻撃力+[LV×5]							
ハンティングスタイル	1	1	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	戦闘移動を行う。離脱可能。封鎖の影響を受けない。1シーンLV回。							
復讐の刃	1	6	オート	至近	単体	対決/白兵	-	
効果:	リアクションの直前に使用。リアクションを放棄することで、対象に白兵攻撃を行う。判定のC値-LV(下限値7)。この攻撃に対象はリアクションを行えない。							
貪欲なる拳	1	3	Xジャー	武器	-	対決/白兵	-	
効果:	ダイス+[LV+1]個							
猫の瞳	★	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果:	暗闇を見通すことができる。必要に応じて知覚判定。							
環境適応	★	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果:	全身を変化させて高山地帯や寒冷地などに順応できるようになる。水中や宇宙空間に適応できるようになるとしてもよい。							
鋭敏感覚	★	-	Xジャー	-	-	自動	-	
効果:	体の感覚器官を変化させることによって、犬の嗅覚や鳥の視力などを一時的に手に入れ、広範囲を探索できるようになる。必要に応じて知覚判定。							
十徳指	★	-	Xジャー	至近	自身	自動	-	
効果:	指先を色々な形に変形させ、専用の工具代わりに使用するエフェクト。必要に応じて知識:機械工学判定。							
効果:								
効果:								
効果:								

1. 女郎蜘蛛 P:傾倒/ON:脅威
2. アザラシ OP:友情/N:蔑み
3. あの女(宇曾谷 葵) P:執着/ON:敵愾心
4. ねーちゃん(神城早月) OP:飯の分の仕事はする!/N:隔意
5. まーぼーどーぶ OP:辛い!!でも食べたくなる!!食いつくしてやる!!/N:敵愾心
6. 飯 OP:飯の為なら何でもする。UGNに行けば腹いっぱい食えるのか?/N:空腹

FHチルドレン。FHセル<女郎蜘蛛一家>の23番目の息子。セル内では下っ端の弟分。金髪が特徴的な少年。見た目の年齢はPC3と同じくらいのようなが、実年齢は不明。攫った子どもたちの監視役、あるいは出来損ない(弱いジャーム)の処刑を行っている。

今日の飯が食べればいい。FHに従う理由は、ただそれだけ。物心ついたときからここにいた。ずっとこの生き方をしてきた。疑問を持ったことなんて1度もなかった。

半年前、PC3を処刑しろと命じられるも、どうしても殺すことができず、PC3の手を引っ張りセルを脱走。追手の兄や姉たち(※セルの構成員)からPC3を守り、PC4は命を落とす。(PC3は駆けつけたUGNによって保護される)

[PC3との出会い]  
・PC3が女郎蜘蛛一家に攫われる。PC4はいつものように攫われた子(PC3)の監視役を任せられる。